

2020年12月期 第2四半期決算 参考資料

ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード：8179)

<https://www.royal-holdings.co.jp>

2020年8月13日

ROYAL
ロイヤルホールディングス株式会社

- I 2020年12月期 第2四半期 実績報告
- II 緊急事態への対応および構造改革の進捗
- III 各事業の変化への対応および
成長期待分野への注力
- IV Appendix

- I 2020年12月期 第2四半期 実績報告
- II 緊急事態への対応および構造改革の進捗
- III 各事業の変化への対応および
成長期待分野への注力
- IV Appendix

I - 1. 連結損益

コロナ禍の影響がグループ事業全体に波及し、全てのセグメントで減収減益
緊急事態宣言下では、多くの拠点で臨時休業や営業時間短縮を実施し、減収幅が拡大

(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期	2020年12月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	68,381	40,501	△27,880	△40.8%
営業利益	1,692	▲11,659	△13,351	-%
経常利益	1,666	▲12,447	△14,114	-%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	754	▲13,163	△13,918	-%
E B I T D A	5,185	▲8,963	△14,149	-%

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + ネット支払利息

(参考) 中間期 修正業績予想との比較

fine food is our business **ROYAL**

- ✓ 緊急事態宣言下の4月における業績推移が、5月～6月も継続する前提で予想を算定
- ✓ 緊急事態宣言解除を受けて、外食事業の一部業態（ロイヤルホスト、てんや）の売上水準が想定を上回る回復
- ✓ 費用削減などの緊急事態への対応も奏功

(単位：百万円)

	2020年12月期 第2四半期 (修正予想)	2020年12月期 第2四半期	増減額 (予想差)
売上高	39,000	40,501	1,501
営業利益	△13,800	▲11,659	2,140
経常利益	△14,500	▲12,447	2,052
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△15,500	▲13,163	2,336
1株当たり 四半期純利益(円)	△415.17	▲352.61	62.56

2020年度12月期（通期）の連結業績予想につきましては、足元で新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、現時点で収束時期が不透明であることから、合理的な見通しが困難であると判断し、引き続き、未定としております。公表が可能となった段階で速やかに公表いたします。

I-2. キャッシュ・フローおよびバランスシート

fine food is our business **ROYAL**

キャッシュ・フロー

- ✓ 営業キャッシュ・フローの減少と高速道路S A・P A事業の買収資金は借入で賄う
- ✓ 設備投資は前年同期比△54%に抑制

(単位：百万円)

	2019年度 中間期	2020年度 中間期	増減額
営業キャッシュ・フロー	4,815	△7,591	△12,406
投資キャッシュ・フロー (うち設備投資)	△3,603 △3,306	△9,638 △1,535	△6,034 1,771
財務キャッシュ・フロー	△2,588	25,535	28,124
キャッシュ・フロー合計	△1,376	8,306	9,682

バランスシート

- ✓ 自己資本は大きく毀損したが、自己資本比率は30%台を確保
- ✓ 2020年6月末現預金残高は127億円（2019年12月末から+83億円を積み上げ）
(コミットメントライン100億円、当座貸越40億円の借入枠を確保)

(単位：百万円)

	2019年度		2020年度	当中間期 増減額
	6月末	12月末	6月末	
総資産	101,256	102,540	109,214	6,673
(参考)うち現金及び預金	3,905	4,443	12,745	8,302
有利子負債	33,172	31,501	58,370	26,869
借入金	4,878	3,553	31,177	27,623
リース債務	28,293	27,947	27,193	△754
自己資本	49,285	50,824	35,641	△15,182
自己資本比率	48.7%	49.6%	32.6%	△17.0%

I-3. セグメント別損益

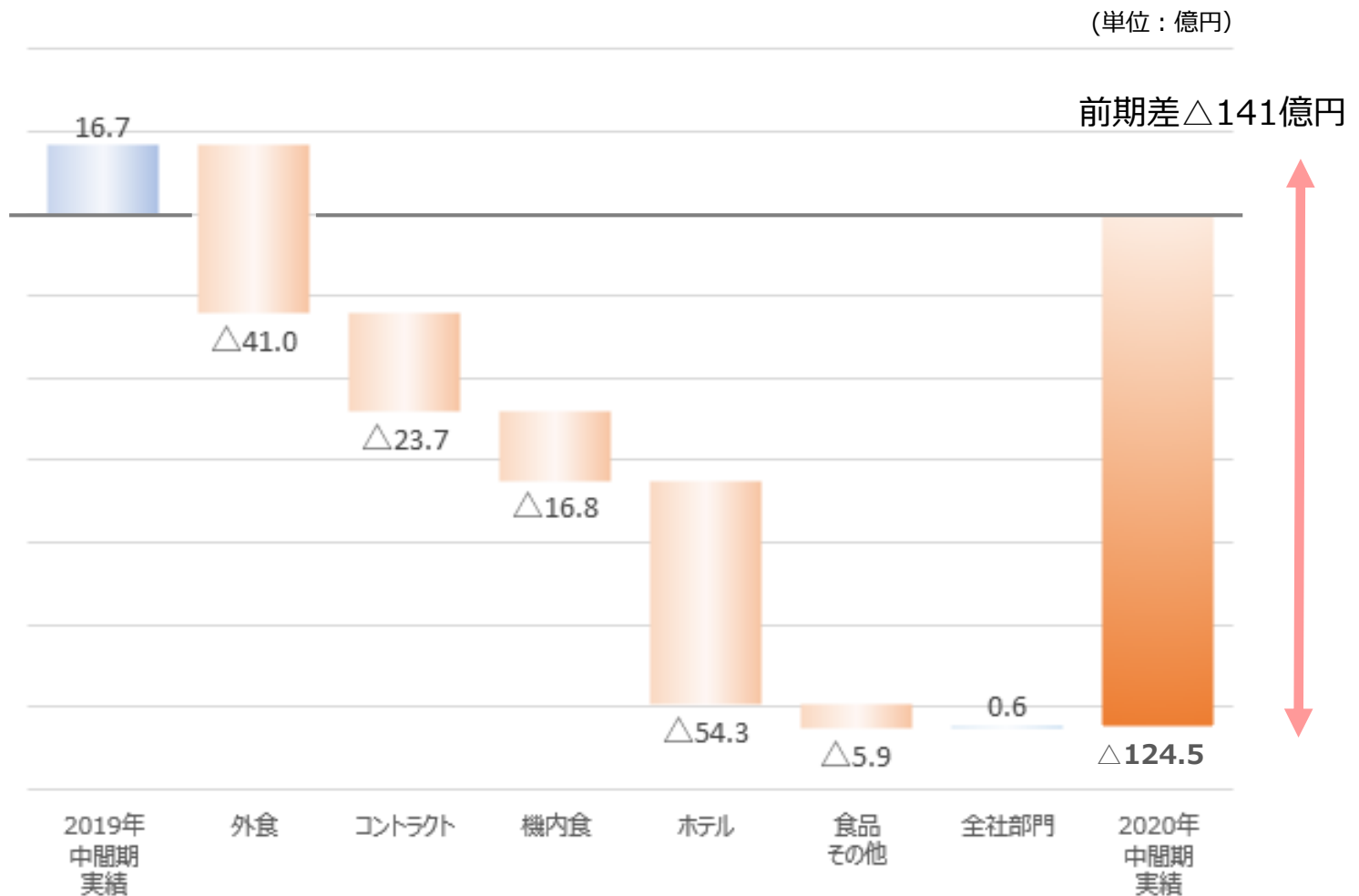
fine food is our business **ROYAL**

(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期				2020年12月期 第2四半期				前期比較			
	売上高 (占有%)		経常利益 (利益率%)		売上高 (占有%)		経常利益		売上高 増減額 (増減率%)		経常利益 増減額	
外食事業	30,617	(44.8)	1,020	(3.3)	21,488	(53.1)	▲3,084		△9,128	(△29.8)	△4,104	
コントラクト事業	17,069	(25.0)	606	(3.6)	9,450	(23.3)	▲1,768		△7,619	(△44.6)	△2,374	
機内食事業	4,688	(6.9)	527	(11.2)	1,726	(4.3)	▲1,150		△2,961	(△63.2)	△1,677	
ホテル事業	14,415	(21.1)	1,375	(9.5)	6,511	(16.1)	▲4,053		△7,903	(△54.8)	△5,429	
食品事業 その他事業	5,228	(7.6)	94	(1.8)	3,743	(9.2)	▲492		△1,485	(△28.4)	△587	
セグメント間相殺	△3,637	(-)	-	(-)	▲2,419	(-)	-		1,218	(-)	-	
全社部門	-	(-)	△1,956	(-)	-	(-)	▲1,897		-	(-)	58	
合計	68,381	(100.0)	1,666	(2.4)	40,501	(100.0)	▲12,447		△27,880	(△40.8)	△14,114	

I-4. セグメント別経常利益前期差

- ✓ コロナ禍に伴う需要減、休業・営業時間短縮等の影響で、全てのセグメントで大幅な売上減による減益
- ✓ 売上占有の高い外食事業と固定費が大きいホテル事業で減益幅が拡大



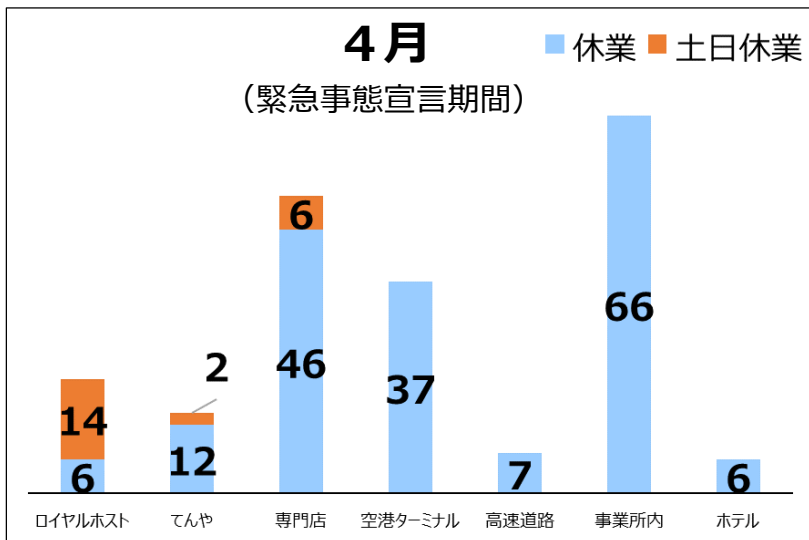
I-5. 各事業の営業状況

外食・コントラクト・ホテル事業

店舗数 (国内直営)	ロイヤルホスト	てんや	専門店	空港	高速道路	事業所内	ホテル
	217	140	92	48	12	140	41

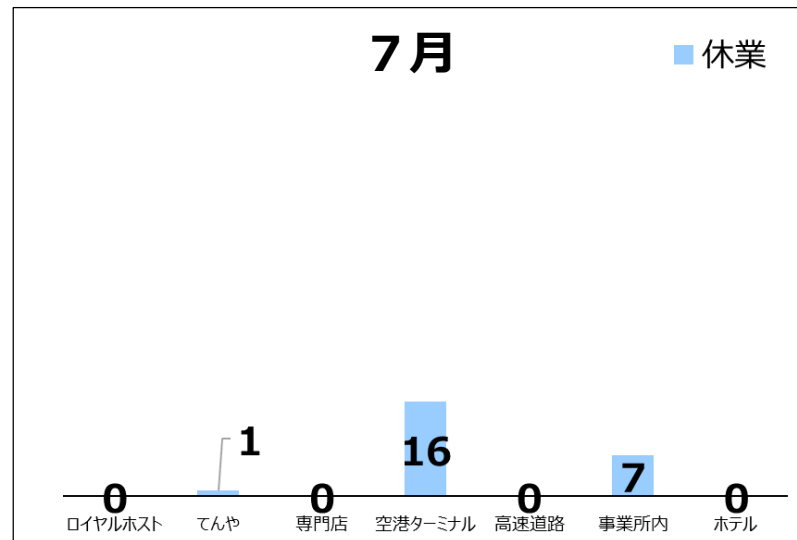
690店

休業店舗数 180店 (26%) (店舗数)



- ・営業店舗は、営業時間短縮
- ・5月-6月末まで10ホテルが休業。1ホテルを宿泊療養施設提供

休業店舗数 24店 (3%) (店舗数)



- ・空港店舗は営業時間短縮継続
- ・1ホテルを宿泊療養施設提供

- ✓ 外食事業では、概ね、通常営業を再開、新たな需要創出策としてテイクアウトやデリバリーの取組みを推進
- ✓ コントラクト事業では、国際線ターミナルの空港店舗で休業が継続するものの、高速道路や事業所内の店舗は営業再開
- ✓ ホテル事業では、北海道札幌の1ホテルを宿泊療養施設として提供、他ホテルは通常営業を再開

機内食事業

4月

売上高計画比

搭載便数

関	西	約4%	国内線	国際線
福	岡	約15%	△41%	△100%
沖	縄	約35%	△40%	△100%

7月

売上高計画比

搭載便数

関	西	約2%	国内線	国際線
福	岡	約20%	△50%	△99%
沖	縄	約36%	△40%	△100%

- ✓ 機内食事業においては、主要な販売先である国際線で運休が継続

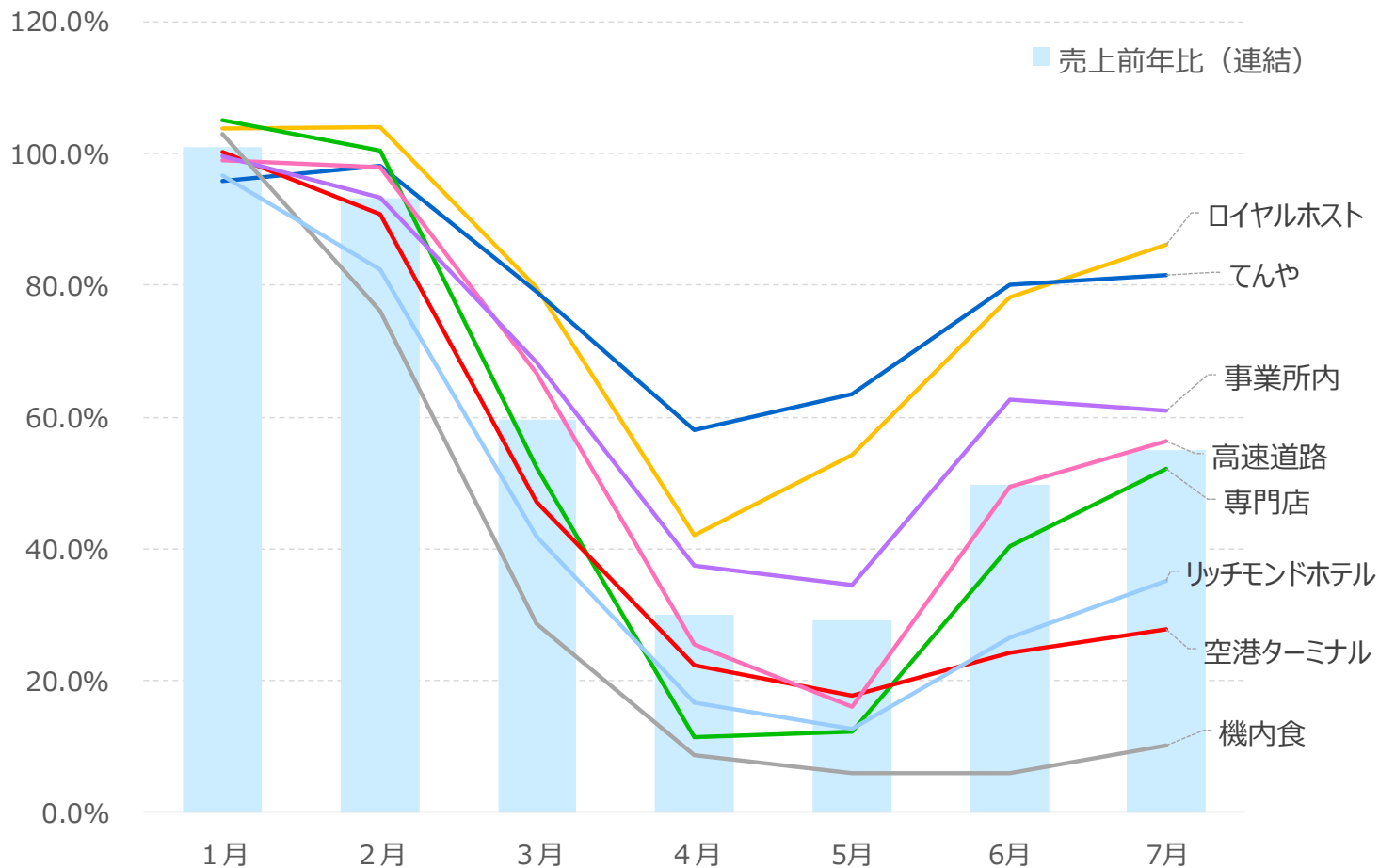
I-6. 既存店売上前年比の推移

既存店売上前年比の算定対象には、休業店舗や営業時間短縮店舗等を含んでおります。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	第2四半期 累計
外食事業	ロイヤルホスト	103.8%	103.9%	79.7%	42.1%	54.2%	78.2%	86.1%	76.5%
	てんや	95.9%	98.2%	79.1%	58.1%	63.6%	80.1%	81.6%	78.9%
	専門店	105.1%	100.5%	52.3%	11.5%	12.3%	40.3%	52.1%	49.7%
コントラクト 事業	空港ターミナル	100.3%	90.8%	47.1%	22.4%	17.6%	24.3%	27.8%	50.1%
	高速道路	99.0%	98.0%	66.6%	25.6%	15.9%	49.4%	56.3%	56.0%
	事業所内	99.6%	93.3%	68.3%	37.4%	34.4%	62.6%	60.9%	65.7%
機内食事業	機内食	103.1%	76.1%	28.6%	8.6%	6.0%	6.0%	10.2%	36.8%
ホテル事業	リッチモンドホテル	96.7%	82.5%	41.8%	16.6%	12.7%	26.5%	35.2%	43.2%

I-7. 既存店売上前年比の推移

既存店売上前年比の算定対象には、休業店舗や営業時間短縮店舗等を含んでおります。



- ✓ 4月：緊急事態宣言の発出に伴う臨時休業や営業時間短縮、外出自粛の拡がりにより、各事業で減収幅が拡大
- ✓ 5月：緊急事態宣言の延長でゴールデンウィーク期間の需要激減、段階的な解除後は外食事業で緩やかに回復傾向
- ✓ 6月：外出自粛や都道府県を跨ぐ移動制限の緩和により、外食事業、コントラクト事業の一部で売上の水準が上昇
- ✓ 7月：ロイヤルホストやてんやの回復が顕著、世界的な渡航制限の継続により空港店舗の一部、機内食事業は低調
また、7月中旬以降は感染再拡大の傾向が強まり、各事業で売上の回復スピードが鈍化

- I 2020年12月期 第2四半期 実績報告
- II 緊急事態への対応および構造改革の進捗
- III 各事業の変化への対応および
成長期待分野への注力
- IV Appendix

Ⅱ-1. 全体像（業績回復に向けた取組み）

fine food is our business **ROYAL**

2020年

2021年

2022年

経営環境の激変

緊急事態への対応

- 1.費用削減
- 2.賃料減額
- 3.設備投資の見直し
- 4.不採算店の撤退
- 5.手元流動性の確保

構造改革の推進

- 1.グループ組織体制の再編
- 2.事業再編
- 3.各事業の変化への対応
- 4.経営効率化の推進
- 5.成長期待分野への注力

変化対応力の強化・経営効率化・成長分野の開拓

経営ビジョン2030・第6次中期経営計画

Ⅱ-2. 緊急事態への対応（2020年）

コスト削減

		(上半期)	(年間想定)
<u>費用削減</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 人件費では役員報酬減額や残業時間低減等を実施 ✓ その他経費では管理可能費削減に注力 	△23億円	△48億円
<u>賃料減額</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 賃料減額および敷金等の返還交渉を推進 ✓ 敷金回収額は約6億円 		
<u>設備投資の見直し</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 年間計画比で約40%を低減 	△11億円 (投資額)	△23億円 (投資額)
<u>不採算店の撤退</u>	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 不採算店70店程度の撤退方針を決定 ✓ 上半期は16店閉店、下半期は30店程度を予定、残りは2021年に撤退を予定 	△0.3億円	△1億円 ※2021年撤退 効果△5億円

削減効果（年間） 想定

費用減 △50億円程度
 投資減、敷金回収 △30億円程度
 他政府支援の活用

手元流動性の確保

- ✓ 2020年6月末現預金残高127億円（2019年12月末から+83億円を積み上げ）
- ✓ コミットメントライン100億円、当座貸越40億円の借入枠を確保

Ⅱ-3. 構造改革の企画立案・推進

「変化対応力の強化」

「経営効率化」

「成長分野の開拓」

1. グループ組織体制の再編

- ✓ 事業推進本部の設置を決定（営業力強化を推進）
- ✓ 対応力強化と経営効率化に向けて、最適なグループ組織体制へ

2. 事業再編

- ✓ グループ事業の再編についてはコロナ後を見据え、慎重に検討
- ✓ 台湾てんや事業については撤退を決定
- ✓ 不採算店の撤退

3. 各事業の変化への対応

- ✓ 販路拡大の取組み（中食市場の開拓、新たな需要の取込み）
- ✓ IT化の推進（モバイルオーダー、アプリ、コード決済）

4. 経営効率化の推進

- ✓ 間接人員の適正化（本部体制のスリム化）
- ✓ 固定費低減、コストダウンの取組み継続
- ✓ DX（SCM）の推進（プロジェクトを組成し、既にスタート）

5. 成長期待分野への注力

- ✓ 食品事業の拡大（ロイヤルデリ、冷凍アントレ、業務食）
- ✓ クラウドキッチンの展開を視野に入れた取組み
- ✓ 海外事業の展開（コロナ後を見据えた出店）

グループ組織体制の再編に向けての考え方

1. 事業推進本部の設置

- 『 営業力強化 』
- 『 機能集約 』

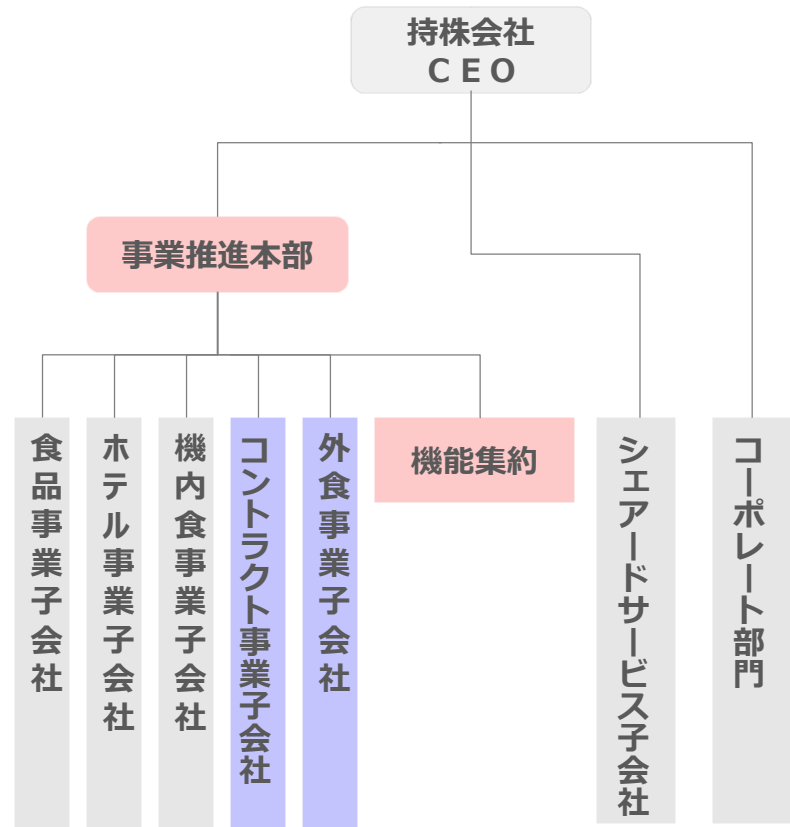
2. 子会社の統合

- 『 変化対応力の強化 』
- 『 経営効率化 』

3. 間接人員の適正化

- 『 本部体制のスリム化 』
- 『 固定費の低減 』

【グループ組織体制の再編イメージ】



上記3点の考え方のもと再編プランを進める

- I 2020年12月期 第2四半期 実績報告
- II 緊急事態への対応および構造改革の進捗
- III 各事業の変化への対応および
成長期待分野への注力
- IV Appendix

Ⅲ-1. 変化への対応（感染予防対策）

政府や各自治体、各施設等の方針、業界のガイドライン等に柔軟に対応

外食事業

例：ロイヤルホスト

安全・安心に関するお願いとご案内

感染予防にご理解・ご協力をお願いいたします。

お客様へのお願い

入口、レジ、ドリンクバー
混雑時は**間隔をあけて**
お並びください。

入店時、ドリンクバー
ご利用時の**アルコール消毒**に
ご協力ください。

お食事以外のご談話時は
マスクの着用を
お願いいたします。

大声での会話は
お控えいただけますよう
お願いいたします。

発熱、体調不良のお客様の
ご来店はご遠慮いただきます。

感染予防の観点から、**小さいお子さま**だけの
ドリンクバーのご利用はご遠慮ください。

当店の取り組み

就業前に**健康チェック**、
手洗い、消毒を行っています。

従業員の**マスク着用**を
実施しています。

可能な限り**間隔をあけて**
お席にご案内しています。

お客様が手に触れる部分は
定期的にアルコール消毒を
実施しています。

食器類は高温で
洗浄殺菌しています。

換気設備による
十分な換気を行っています。

Royal Host

客席のアクリル板設置

ロイヤルホスト



背面、コーナー部
直営全店に設置完了

てんや



カウンター席
直営全店に設置完了

ホテル事業

- ・アルコール消毒（共有スペース、客室内）
- ・ビル管理法に基づいた換気
- ・消毒済のルームキー、フロントのペンの使用
- ・朝食ビュッフェを御膳形式に変更



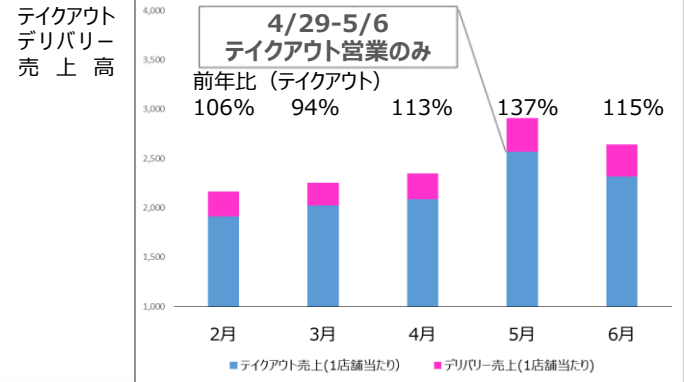
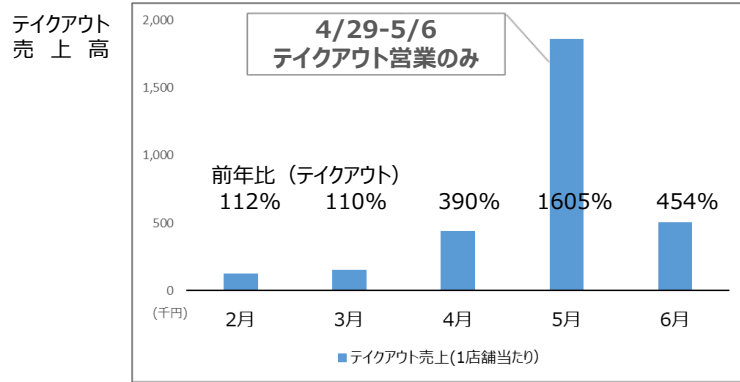
Ⅲ-2. 変化への対応（外食事業）

外食の価値を更に向上させていく（外食の楽しさ、美味しさ）

中食市場の開拓（テイクアウト・デリバリー）

ロイヤルホスト 4月末 テイクアウトメニューを12品から31品に
前年の約4倍に伸長

てんや テイクアウト：前年の**10%超**の伸長
デリバリー：前年の約**6倍**に伸長(実施店舗数拡大の影響も含む)



さらなる専用メニューの投入

〈ロイヤルホスト〉
全店で販売（9月～）



〈てんや〉直営86店で販売（8月～）



専門店

- ・専門店ならではの上質なテイクアウトメニューのラインアップ
- ・デリバリーの導入
シズラー全店、シェーキーズ直営全店で導入（7月～）



Ⅲ-3. 変化への対応（外食事業）

IT化の推進

コード決済の導入拡大

専門店 32店（3月）
（シズラー、シェーキーズなど）
ロイヤルホスト、カウボーイ家族 231店（5月）
天井てんや 直営98店（7月）

テイクアウト モバイルオーダー のテスト開始

ロイヤルホスト（8月～）
てんや（9月～）

スマートフォンなどで
事前注文可能
待ち時間の削減



アプリ導入

ロイヤルホスト（4月）
てんや（9月予定）

営業施策

てんや

500円天井の復活 季節感ある期間限定商品



天井にのっけませんか！日本の夏



ロイヤルホスト

営業時間の見直し

深夜時間帯をモーニングへシフト

7月～ 51店舗で実施
9時-24時 → 8時-23時営業へ
※一部店舗は7時-23時

デリバリー販売の開拓

6月 17店でテスト実施
8月 50店舗体制へ

Ⅲ-4. 変化への対応（コントラクト/機内食事業）

fine food is our business ROYAL

コントラクト事業

ニーズの獲得への時代対応、付加価値と効率性の向上を推進

業態転換

- ロイヤルホスト羽田空港店（3月）
空港ターミナルへの初出店



海老名SA フルリニューアル

- 改装による販売力・効率性向上
- IT推進
セルフレジ
モバイルオーダー
(年内予定)
- 販路拡大
近隣へのデリバリー
- ロイヤル製品



海老名SA（下り）
「EXPASA 海老名」
（7月22日オープン）

機内食事業

費用削減の推進、助成金の活用

新規獲得・販路拡大の取組み

- 4月より搭載業務を新規受託（沖縄工場）
- 業務食製造拡大の取組み



Ⅲ-5. 変化への対応（ホテル事業）

従来のビジネスホテルモデルにとらわれず新たな宿泊プランの提案へ

販路拡大

- ビジネス需要向けの販売を強化

テレワークルーム
オフィス利用
会議室利用



営業強化

- 地域密着型営業の促進

自治体・観光地の支援策連携のプラン

- 法人営業の強化
(企業、リアルエージェント)



効率化、 利便性の向上

- 業務の集約化と多能工化の推進
- コード決済の導入
(6月) ※直営全店



新型コロナウイルス無症状者および軽症者の受け入れ

リッチモンドホテル札幌駅前（客室数182室） 2020年4月29日～8月31日（予定）

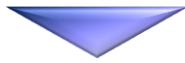
リッチモンドホテル福岡天神（客室数245室） 2020年8月2日～9月30日（予定）

Ⅲ-6. 成長期待分野への注力（食品事業の拡大）

fine food is our business ROYAL

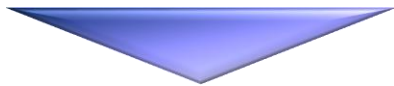


2019年12月 展開開始



2020年8月1日現在

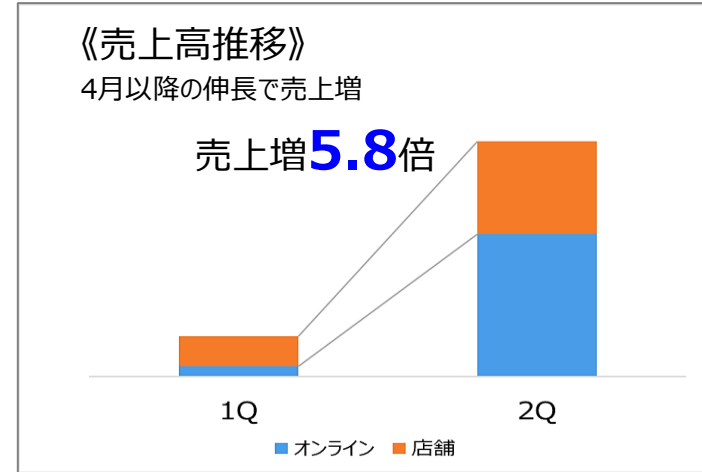
- ・グループ内店頭販売 227店
(ロイヤルホスト、一部専門店、一部高速道路売店)
- ・オンラインショップ（自社）にて販売



＜販路拡大への取組み＞

- ・グループ内販売のさらなる拡大
- ・自社オンラインショップ会員増の取組み
- ・PR強化 SNS、メディアへの発信
- ・他社との協業、連携

食品事業の拡大



定番商品25品 + シーズン商品

Ⅲ-7. クラウドキッチンの展開を視野に入れた取組み

fine food is our business ROYAL

コントラクト店舗でグループシナジーを活かした取組み



オフィスビルのカフェテリア拠点



◆ロイヤルグループの各ブランドの商品が
テイクアウト／デリバリーできる
(当該店舗の営業時間外をイートインと共に活用)

■今後のクラウドキッチンの展開を視野



テスト実施

2020年9月スタート
予定

展開

⇒ 自社の他のコントラクト店舗
⇒ 自社のホテル内レストラン
⇒ クラウドキッチンを視野に展開

- I 2020年12月期 第2四半期 実績報告
- II 緊急事態への対応および構造改革の進捗
- III 各事業の変化への対応および
成長期待分野への注力
- IV Appendix

IV-1. 外食事業

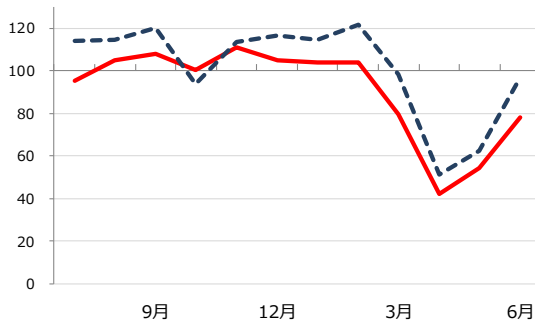
(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期		2020年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	30,617	1,020	21,488	▲3,084	△9,128	△4,104
ロイヤルホスト事業 (カウボーイ家族他含む)	19,063	941	14,033	▲1,131	△5,029	△2,073
てんや事業	6,344	68	4,902	▲692	△1,442	△760
専門店等	5,209	9	2,552	▲1,260	△2,656	△1,270

〈〈 既存店売上前年（2010年）比 推移（％） 〉〉

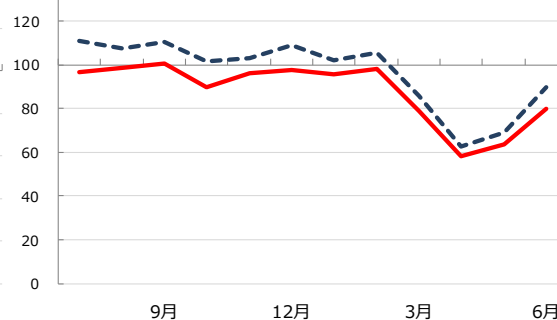
ロイヤルホスト

(参考)
第2四半期累計
76.5



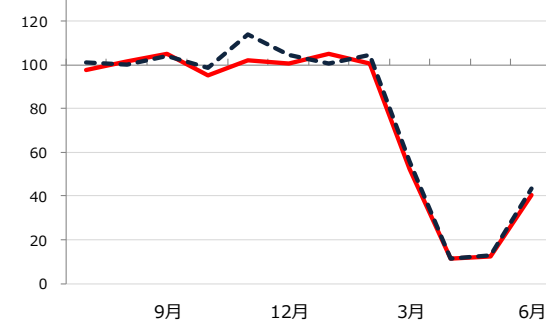
てんや

(参考)
第2四半期累計
78.9



専門店等

(参考)
第2四半期累計
49.7

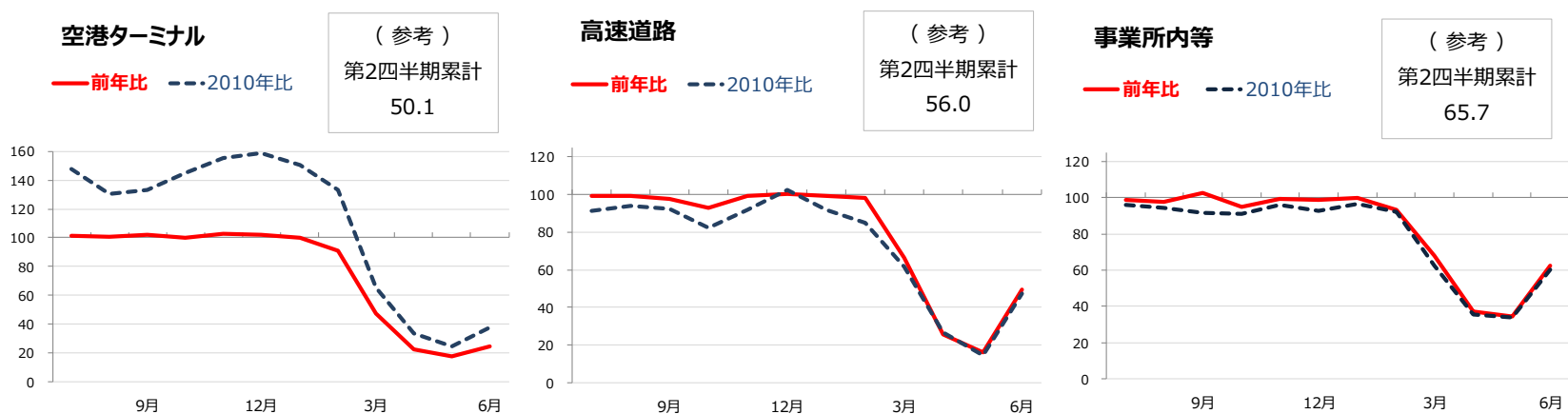


IV-2. コントラクト事業

(単位：百万円)

	2019年12月期 第2四半期		2020年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コ ン ト ラ ク ト 事 業	17,069	606	9,450	▲1,768	△7,619	△2,374
空港ターミナル・高速道路等	10,177	395	5,363	▲1,094	△4,814	△1,489
事 業 所 内 等	6,891	210	4,086	▲674	△2,805	△885

《〈 既存店売上前年（2010年）比 推移（％） 〉》

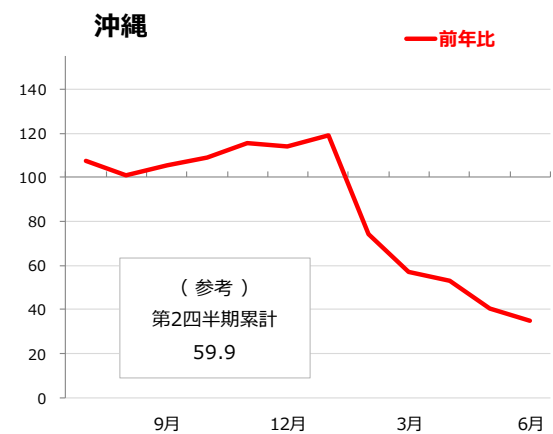
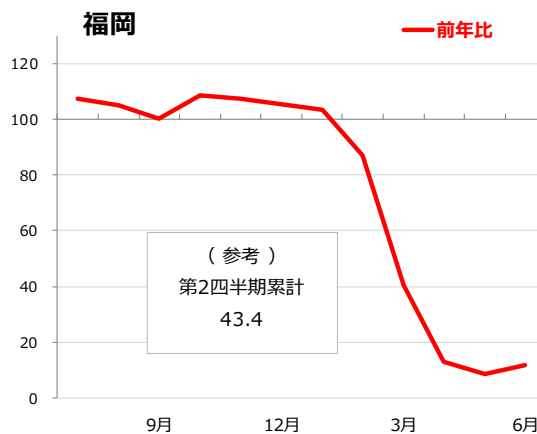
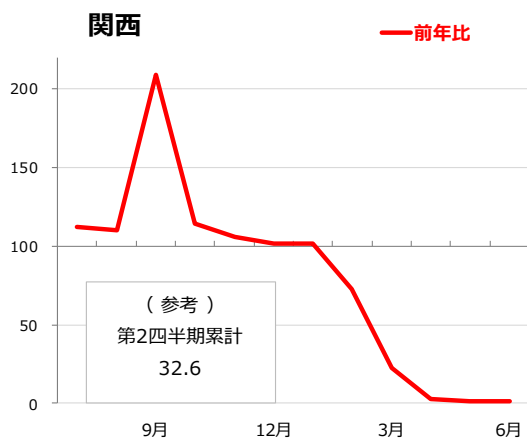


IV-3. 機内食事業

(単位：百万円)

機 内 食 事 業	2019年12月期 第2四半期		2020年12月期 第2四半期		増 減 額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
	4,688	527	1,726	▲1,150	△2,961	△1,677

《 売上前年比 推移（％） 》



IV-4. ホテル事業

(単位：百万円)

ホ テ ル 事 業

2019年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
14,415	1,375

2020年12月期 第2四半期	
売上高	経常利益
6,511	▲4,053

増減額	
売上高	経常利益
△7,903	△5,429

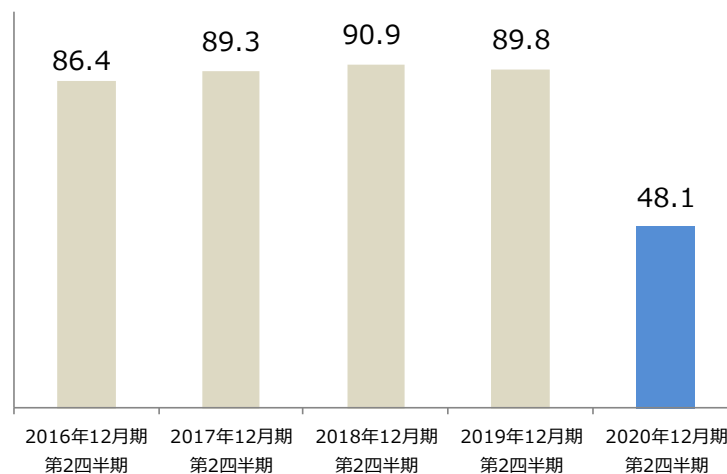
【リッチモンドホテル 直営のみ】

店舗数（各四半期末）	40	41	41	41	41
各期末客室数（室）	8,110	8,317	8,313	8,313	8,313
直営ホテル客室稼働率	89.8%	89.9%	91.8%	91.4%	90.7%

2019年12月期				
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第3四半期 7月-9月	第4四半期 10月-12月	通期
40	41	41	41	41
8,110	8,317	8,313	8,313	8,313
89.8%	89.9%	91.8%	91.4%	90.7%

2020年12月期		
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第2四半期累計 1月-6月
41	41	41
8,312	8,311	8,311
70.7%	25.4%	48.1%

《 客室稼働率推移 》



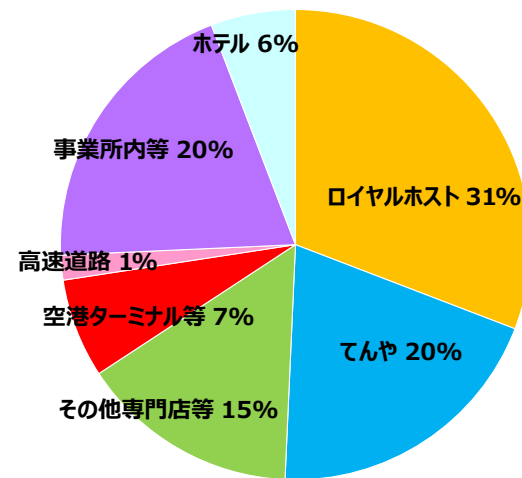
IV-5. 店舗展開状況

外 食 事 業 計			
ロイヤルホスト			
直 営			
国内 F C			2
海外 F C			12
てんや			
国内 直 営			147
海外 直 営			3
国内 F C ※1			53
海外 F C			26
カウボーイ家族			
シェーキーズ			
直 営			12
F C 等			9
シズラー			
ロイヤルガーデンカフェ			
直 営			8
F C 等 ※1			1
その他専門店			
直 営			46
F C 等			46
コントラクト事業計			
空港内レストラン・売店等			
高速道路内レストラン・売店			
直 営			12
F C 等			2
ビジネス&インダストリー			
シルバー・ハルスケア			
百貨店内レストラン等			
ホテル事業計			
リッチモンドホテル等			
直 営			41
F C 等			2
ホテル直営レストラン			
グループ合計 ※1			
直 営			724
F C 等 ※1			100
(内、海外 F C)			
			38

2019年 通期実績			
開店	閉店/異動	増減	期末
19	△26	△7	564
2		2	231
2		2	217
			2
			12
15	△10	5	229
	△5	△5	147
2		2	3
5	△4	1	53
8	△1	7	26
	△12	△12	18
	△2	△2	21
			12
	△2	△2	9
1		1	10
			9
			8
			1
1	△2	△1	46
1	△2	△1	46
10	△22	△12	213
5	△3	2	50
1		1	14
1		1	12
			2
2	△11	△9	75
1	△1		44
1	△7	△6	30
3		3	54
3		3	43
2		2	41
1		1	2
			11
31	△48	△17	824
18	△41	△23	724
13	△7	6	100
8	△1	7	38

2020年 第2四半期実績			
開店	閉店/異動	増減	期末
3	▲16	▲13	551
1		1	232
			217
1		1	3
			12
1	▲13	▲12	217
1	▲8	▲7	140
			3
	▲4	▲4	49
	▲1	▲1	25
			18
			21
			12
			9
			10
1	▲1		9
1	▲1		8
			1
	▲2	▲2	44
	▲2	▲2	44
3	▲14	▲11	202
	▲2	▲2	48
1	▲1		14
1	▲1		12
			2
2	▲2		75
	▲5	▲5	39
	▲4	▲4	26
			54
			43
			41
			2
			11
5	▲30	▲25	799
5	▲25	▲20	704
	▲5	▲5	95
	▲1	▲1	37

《 店舗数占有比 》
(2020年6月末時点)



※1 てんや「国内 F C」にはグループ内 F C 6店舗、ロイヤルガーデンカフェ「F C 等」にはグループ内 F C 1店舗を含む。他のセグメントと重複カウントとなる為、グループ合計からは除外。

- 本資料に記載している売上高には、その他の営業収入を含めております。
- 本資料に記載している営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益については、それぞれ営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する当期(四半期)純損失の場合に「△」で表示しております。
- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関する問い合わせ先:

ロイヤルホールディングス株式会社

財務企画部 電話 : 03-5707-8873

経営企画部 電話 : 03-5707-8852